

朝陽育成会少年野球 新型コロナウイルス感染予防の取組

朝陽育成会少年野球に所属する選手、保護者、指導者は、新型コロナウイルスに感染する要因を正しく理解した上で、長野県の「信州版「新たな日常のすゝめ」」や（公財）全日本軟式野球連盟の「JSBB感染予防対策ガイドライン」などに基づき、チームの活動において以下の項目に取り組みます。

【基本認識】

新型コロナウイルスは「目・鼻・口」から感染します。

○飛沫感染：感染している人の咳・くしゃみ・会話で生じる飛沫に含まれるウイルスが、目・鼻・口に入ることによって感染

○接触感染：ウイルスの付着した手が、目・鼻・口に触れることによって感染

【感染予防のための取組】

1 チームの日々の活動にあたって

（１）検温など体調チェックを毎日行います。また、行動の管理に努めます。

○以下に該当する場合は参加を見合わせます。

・体調がよくない場合、又は以下の症状が少しでも疑われる場合

37.5℃以上の発熱、咳、のどの痛み、息苦しさ、倦怠感、嗅覚や味覚の異常、等

・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合

○体調がよくなって2日以内は参加を見合わせます。

○移動を行う地域の感染状況に注意します。

（２）3つの密【密閉・密集・密接】を避けます。

○人との間隔はできるだけ2m（最低1m）空けます。

○大人数で密集するようなトレーニングを避けます。

（３）感染防止の3つの基本を実践します。

○人と人との距離の確保

・人との間隔はできるだけ2m（最低1m）空けます。（再掲）

・大人数で密集するようなトレーニングを避けます。（再掲）

・会話の際は、できるだけ真正面を避けます。

○マスクの着用・咳エチケットの徹底

・移動や着替えの時など、スポーツ活動以外はできるだけマスクを着用します。

・マスクを着用して活動する場合は、運動強度を落とします。特に、夏季の活動時には熱中症にも留意して対応します。

○こまめな手洗い・手指消毒

・こまめな手洗い（時間をかけ丁寧に）、アルコール等による手指消毒を実施します。

・目、鼻、口にできるだけ触らないようにします。

・タオル類やコップ類などの共有を避けます。

2 大会参加にあたって

○上記1の項目に取り組むとともに、大会主催者が定める感染予防対策を順守します。